

金 融 経 済 概 況

I. 全体感

道北地域^{*}の景気は、低迷が続く中、持ち直しの動きに一服感がみられる。

すなわち、最終需要面の動きをみると、設備投資が低水準ながらも増加しているほか、住宅投資は下げ止まっている。一方、公共投資は大幅に減少している。この間、個人消費は、一部に駆け込み需要の反動がみられる。

こうした中で、生産は持ち直しの動きが鈍化している。雇用環境は、地域間のばらつきは残るものの、改善の動きがみられる。

金融面では、預金が引続き堅調なものの、貸出は前年をやや下回った。貸出約定平均金利は横ばい圏内で推移した。

II. 実体経済

1. 最終需要項目別動向

(1) **個人消費：一部に駆け込み需要の反動がみられる。**

平成 22 年 11 月の百貨店・スーパー等主要大型店の売上高は、前年同月を若干下回った（前年比＜同旭川地域＞： $\Delta 0.7\% < +0.2\% >$ 、22/7～9 月 $+0.6\% < +3.1\% >$ 、22/7～9 月＜昨年 7 月に閉店した百貨店の前年同月の計数を含めたベース＞ $\Delta 8.2\% < \Delta 10.7\% >$ ）。初売り商戦は、概ね前年並みの仕上がりとなった模様である。

11 月の新車登録台数（含む軽乗用車）は、エコカー補助終了前の駆け込み需要の反動から、引続き前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 21.2\%$ 、22/7～9 月 $+18.9\%$ ）。

11 月の貨物輸送量は、水産物、食料品が大幅に減少したほか、木材も減少したため、前年同月を下回った（前年比： $\Delta 13.9\%$ 、22/7～9 月 $\Delta 1.8\%$ ）。

^{*} 平成 22 年 4 月 1 日より道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内。

11月の空港（旭川、稚内、女満別、紋別）利用客数は、紋別空港で前年同月を上回った一方、旭川空港、稚内空港、女満別空港で前年同月を下回り、全体でも前年同月を下回った（前年比： $\Delta 7.1\%$ ＜旭川空港 $\Delta 11.2\%$ ＞、22/7～9月 $+0.7\%$ ＜同 $+9.5\%$ ＞）。

11月の電力消費量は、検針期間が前年に比べ短かったこともあり、産業用、民生用共に前年同月を下回り、全体でも前年同月を下回った（前年比： $\Delta 3.3\%$ 、22/7～9月 $+4.6\%$ ）。

(2) **公共投資：大幅に減少している。**

11月の公共工事請負金額（上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内）は、全ての総合振興局管内で前年同月を下回り、全体でも前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 31.4\%$ 、22/7～9月 $\Delta 23.1\%$ ）。

(3) **設備投資：低水準ながらも増加している。**

道北地域の「企業短期経済観測調査」（平成22年12月調査）における22年度設備投資計画は、9月調査比約2割上方修正された結果、前年度を12.6%上回っている。半期別にみると、上期は前回調査比若干下方修正され、前年同期を6.2%下回る一方、下期は前回調査比4割強上方修正され、前年同期を28.3%上回っている。

11月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の非居住用建築確認申請（床面積）をみると、稚内市で前年同月を上回ったものの、旭川・北見・網走市で前年同月を大幅に下回ったことから、全体でも前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 44.3\%$ ＜旭川市 $\Delta 26.8\%$ ＞、22/7～9月 $+31.5\%$ ＜同 $+26.0\%$ ＞）。

(4) **住宅投資：下げ止まっている。**

11月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の居住用建築確認申請（床面積）をみると、稚内市で前年同月を上回ったものの、旭川・北見・網走市で前年同月を下回ったことから、全体でも前年同月を下回った（前年比： $\Delta 7.0\%$ ＜旭川市 $\Delta 7.6\%$ ＞、22/7～9月 $+5.5\%$ ＜同 $+11.9\%$ ＞）。年度初来累計では、ほぼ前年度並みの水準となっている（22/4～11月 $+1.1\%$ ＜同 $\Delta 2.0\%$ ＞）。

2. 業種別動向

(第一次産業)

11月のオホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）をみると、ほっけ、にしんが前年同月を大幅に下回ったが、スケソウ、ほたて、秋鮭等が好調だったことから、数量・金額共に前年同月を上回った（数量前年比：+5.7%、金額前年比：+84.9%、22/7～9月数量前年比：+5.7%、金額前年比：+5.6%）。

11月の生乳出荷量は、前年同月を若干下回った（前年比：△1.6%、22/7～9月△1.2%）。

(製造業)

11月の製材出荷量（速報値）は、道内・道外とも針葉樹が増加した一方、広葉樹が減少したため、全体では前年同月比横這いとなった（前年比：+0.0%、22/7～9月+8.0%）。

普通合板の出荷量は、道内向けが増加したものの、ウエイトの高い道外向けが減少したことから、前年同月を下回った（22/10月前年比：△9.2%、22/7～9月△1.8%）。

紙・パルプの出荷量は、印刷用紙、雑種紙、情報用紙が好調だったことから、前年同月を上回った。

電子部品関連は、海外経済の動向等を映じ、増勢が鈍化している。

3. 雇用・倒産動向

11月の常用新規求人数（旭川、稚内、北見、網走）は、稚内地区で前年同月を下回ったほかは、その他の地区で前年同月を上回り、全体では2か月振りに前年同月を上回った（4地区合計前年同月比：+27.7%＜旭川地区+37.5%＞、22/7～9月+9.6%＜同+16.2%＞）。11月の有効求人倍率（常用）は、稚内を除く全ての地区で前年同月を上回った。

11月の倒産件数は3件、負債総額は2億円となった（22/7～9月中件数：11件＜前年同期比：△35.3%＞、同負債総額：29億円＜前年同期比：△33.4%＞）。

Ⅲ. 金融動向

11月末の金融機関預金残高は、堅調な動きとなった（表面預金残高前年比：+2.4%、前月比+0.1%）。

11月末の金融機関貸出残高は、前年同月をやや下回った（貸出残高前年比： $\Delta 1.1\%$ 、前月比 $\Delta 0.9\%$ ）。

11月末の旭川市内金融機関の貸出約定平均金利（総合）は、横ばい圏内で推移した（ 1.993% 、前月比： $\Delta 0.007\%$ ポイント）。

11月に日本銀行が管内で受入れた銀行券は88億円と前年同月（93億円）を5億円下回った。一方、払出した銀行券は110億円と前年同月（92億円）を18億円上回った。この結果、本年は払超（22億円）に転化した（前年同月は1億円の受超）。12月の受入れは62億円（前年同月73億円）、払出しは270億円（前年同月259億円）となった結果、払超額は208億円となった（前年同月は185億円の払超）。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <http://www3.boj.or.jp/asahikawa/>

道北主要経済指標

P=速報値 r=修正値

	数量・金額 22/11月 (合板は22/10月)	前年同期・月比(%)				備考 (資料出所等)	
		22/4~6	22/7~9	22/10	22/11		
漁業水揚	数量(千トン)	14	24.2	5.7	25.1	5.7	稚内・紋別・網走・枝幸港
	金額(百万円)	2,809	19.5	5.6	85.7	84.9	
生乳	出荷(トン)	79,890	△ 0.8	△ 1.2	△ 1.5	△ 1.6	ホクレン旭川・稚内・北見支所
製材	生産(千m ³)	P 35	r 17.9	P 8.8	P 2.5	P 6.1	上川・オホーツク総合振興局林務課
	うち針葉樹	33	22.8	12.0	3.5	7.2	
	広葉樹	2	△23.8	△24.2	△11.9	△9.3	
	出荷(千m ³)	P 35	r 20.5	P 8.0	P 7.0	P +0.0	
	うち針葉樹	33	23.9	9.3	7.1	2.7	
	広葉樹	2	△11.3	△ 4.6	4.7	△ 30.9	
在庫(千m ³)	P 34	※1 r 12.0	※2 P 10.4	P 14.6	P 8.2		
合板	生産(千m ²)	4,356	△ 4.7	5.5	△ 6.5	n. a.	
	出荷(千m ²)	4,321	△ 3.2	△ 1.8	△ 9.2	n. a.	
	在庫(千m ²)	6,373	※1 △24.5	※2 △14.6	△11.2	n. a.	
建設	公共工事請負額(百万円)	8,775	△18.6	△23.1	△47.9	△31.4	北海道建設業信用保証(株)
	うち上川	3,611	△24.7	△16.5	△49.1	△45.2	
	宗谷	1,914	△23.4	△22.3	△47.0	△ 7.1	
	オホーツク	3,250	△ 6.8	△29.9	△47.0	△21.7	
	確認申請床面積(千m ²)	27	△ 7.6	15.5	△18.9	△17.7	旭川・稚内・網走・北見市
	うち居住用	22	4.8	5.5	△13.8	△ 7.0	
旭川市確認申請床面積(千m ²)	19	△ 8.7	17.0	△ 8.9	△12.9	旭川市	
旭川市確認申請住宅戸数(戸)	164	△14.6	15.4	△24.3	△ 3.0		
消費	大型店売上高(百万円)	4,928	※3 3.0	※3 0.6	1.1	△ 0.7	日本銀行旭川事務所
	新車登録台数(台)	2,316	19.8	18.9	△20.2	△21.2	自販連
	うち乗用車	1,817	18.3	17.6	△20.3	△25.3	旭川・北見支部
	空港旅客数(人)	135,093	△ 2.6	0.7	△ 0.2	△ 7.1	旭川・稚内・女満別・紋別空港
貨物	貨物輸送量(千トン)	919	2.7	△ 1.8	△ 8.0	△ 13.9	日本銀行旭川事務所
電力	電力消費量(千KWH)	446,563	3.9	4.6	2.2	△ 3.3	北海道電力

注1) 数量・金額の合計は四捨五入の関係上一致しないことがある

注2) 道北：22年4月以降より上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内(22/3月以前は、旧上川、宗谷、網走支庁管内)

※1 22/6月末前年同月比

※2 22/9月末前年同月比

※3 一部大型店の閉店に伴い、前年同期・月比調整済。

	数量・金額 22/11月	前年同期・月比(%)				備 考 (資料出所等)		
		22/4~6	22/7~9	22/10	22/11			
雇 用	常用新規求人数(人)	2,629	12.0	9.6	△ 5.3	27.7	旭川・稚内・北見・網走公 共 職 業 安 定 所	
	旭川	1,584	13.4	16.2	△ 4.6	37.5		
	稚内	144	△25.8	△33.2	△32.6	△ 7.1		
	北見・網走合計	901	21.7	11.6	0.1	20.0		
倒 産	件数(件)	3	△ 9.5	△35.3	△16.7	△50.0	帝国データバンク 旭 川・北見支店	
	金額(百万円)	197	10.0	△33.4	66.2	△89.6		
金 融	手形交換高(百万円)	53,319	1.7	△ 1.0	△ 5.7	1.6	札 幌 銀 行 協 会 (道北7手形交換所分)	
	取引停止処分(枚)	0	△87.7	46.2	※4 —	0		
	管内店舗表面預金 (末残、億円)	34,693	※1 2.7	※2 2.3	2.4	2.4	日 本 銀 行 旭 川 事 務 所	
	管内店舗貸出金 (末残、億円)	14,864	△ 1.4	△ 1.3	△ 1.1	△ 1.1		
	旭川市内銀行等貸出約定平均金利(%)	総合	1.993	※5 2.042 (△0.003)	※6 1.997 (△0.039)	※7 0.003		※7 △0.007
		短期	1.642	1.704 (△0.005)	1.632 (△0.091)	0.021		△0.011
		長期	2.112	2.153 (△0.003)	2.124 (△0.014)	△0.004		△0.008
	銀行券受入高(百万円)	8,842 22/12月: 6,157	△ 6.5	△12.4	11.4	△ 4.9		
	払出高(百万円)	11,000 22/12月: 26,950	20.8	10.3	22.5	19.8		

※1 22/6月末前年同月比

※2 22/9月末前年同月比

※4 21/10月の取引停止処分枚数は0

※5 22/6月末金利水準、()内は前月比増減(△)ポイント

※6 22/9月末金利水準、()内は前月比増減(△)ポイント

※7 前月比増減(△)ポイント

○有効求人倍率(常用)

()内は前年

年/月	旭 川		稚 内		北 見		網 走		
		倍		倍		倍		倍	
21/ 12	0.35	(0.37)	0.54	(0.43)	0.51	(0.46)	0.45	(0.39)	
22/	1	0.38	(0.36)	0.49	(0.46)	0.55	(0.44)	0.43	(0.41)
	2	0.41	(0.37)	0.57	(0.51)	0.59	(0.44)	0.43	(0.45)
	3	0.42	(0.37)	0.56	(0.48)	0.57	(0.40)	0.50	(0.46)
	4	0.39	(0.36)	0.44	(0.43)	0.48	(0.35)	0.51	(0.43)
	5	0.38	(0.33)	0.44	(0.48)	0.49	(0.32)	0.52	(0.42)
	6	0.41	(0.32)	0.52	(0.58)	0.52	(0.35)	0.53	(0.44)
	7	0.45	(0.34)	0.51	(0.57)	0.60	(0.40)	0.58	(0.44)
	8	0.46	(0.36)	0.55	(0.60)	0.64	(0.43)	0.62	(0.51)
	9	0.52	(0.39)	0.52	(0.69)	0.66	(0.51)	0.66	(0.52)
	10	0.50	(0.39)	0.47	(0.66)	0.65	(0.52)	0.65	(0.51)
	11	0.50	(0.39)	0.48	(0.59)	0.62	(0.53)	0.59	(0.46)

公共職業安定所調べ